

H27年度 武蔵野会法人研修計画

2015/5/13

区分A	研修名称	開催日時	研修内容	テーマ	方法	対象	担当	会場	
理念経営	理念A	通年・地区	アイ支援ブックの完成と理念の語り	ワールドカフェ方式で実施	施設長・管理 一般職員	地区長・施設長・研修担当	文京総合 福祉センター	全階層合同で実施する ファシリテータを置く	
	理念B	通年・地区				地区長・施設長・研修担当			
	理念C	通年・地区				地区長・施設長・研修担当			
	理念D	通年・地区				地区長・施設長・研修担当			
権利擁護	虐待防止研修	6月30日	虐待防止について	虐待防止ガイドラインなどを活用して	全職層・職種	練馬地区	えみふる	プロジェクト	
	虐待防止フォローアップ	1月29日	虐待防止について	虐待防止ガイドラインなどを活用して	全職層・職種	練馬地区	えみふる	プロジェクト	
	武蔵野会セミナー	11月7日	触法障害者支援	公開セミナー	全職層・職種	八王子地区		プロジェクト	
	HIV啓発研修	通年	HIV感染症マニュアル	HIVの福祉問題	全職層・職種	本部		各地区・施設 プロジェクト	
経営課題研修	成年後見制度	通年	成年後見制度の理解	成年後見リフレット	全職層・職種	社団法人「みんなの力」		各地区・施設 リフレット	
	定着支援	於主任・係長・課長研修	知的障害者の触法問題	触法障害者問題・定着支援課題	役員以上	本部		本部	
マネジメント 研修	リーダーシップ&OJT A	12月16日 施設長研修時	施設長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	施設長	合同会社 ユナイテッド	本部	多面評価シート	
	リーダーシップ&OJT B	12月上旬	課長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	課長	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設	多面評価シート	
	リーダーシップ&OJT C	1月	係長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	係長	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設	多面評価シート	
	リーダーシップ&OJT D	1-2月 3回に分けて	主任のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	主任	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設	多面評価シート	
トータル人事制度	人事制度説明会	4-5月 1日 人事制度説明	人事制度の手引き	人事制度と目標管理	施設長・管理職 全職層・職種	地区長・施設長・研修担当		各地区・施設 手引き	
新リーダー研修	新リーダー	4-5月 2日	心構えとOJT	声掛けシート、人事制度の復習	新リーダー	地区長・施設長		各地区・施設	
階層別研修	新任主任	5月1日 1回 計30h 講義&通信課題	主任の心構えと役割 PDCA管理とリーダーシップ	「マネジメントの基本」 産能大経営センター通信教材 「非営利組織の経営」 P・D・ラッカー レポート	新任主任	運営委員	本部	産能大経営センター 通信教材 「非営利組織の経営」	
	新任係長	4月27日 1回 計15h 講義&通信課題	係長の心構えと役割 部下指導と育成	指導監督業務とリーダーシップ 「多面評価からの課題形成と改善」	新任係長	運営委員	本部		
	新任課長	4月21日 1回 講義	課長の心構えと役割 組織マネジメント	ミドルマネジメントとサービス管理 「多面評価からの課題形成と改善」 ミッション・マネジメントと施設経営管理 「多面評価からの課題形成と改善」	新任課長	本部・運営委員	本部		
	新任施設長	4月22日 1回 講義	施設長の心構えと役割 施設経営の基本	施設長としての心構えと役割 施設経営の基本	新任施設長	本部・運営委員	本部		
	施設長	4月15日 6月17日 8月19日 10月21日 12月16日 2月17日	福祉経営マネジメント	法人理念 福祉動向 経営マネジメント リスク管理など	施設長	本部	本部		
	課長	12月上旬	福祉経営マネジメント	多面評価と組織診断	課長	合同会社 ユナイテッド	本部		
	係長	1月	法人経営課題と中級マネジメント	多面評価と組織診断	係長	合同会社 ユナイテッド	本部		
	主任	1月-2月 2回開催	法人経営課題と初級マネジメント	多面評価と組織診断	主任	合同会社 ユナイテッド	本部		
	リーダー	通年 通信課題	「経験の棚卸し」と伝達	「リーダー」のリーダーシップと役割	リーダー	地区長・施設長	各地区・施設		
	一般職員研修A	通年 毎週1回程度	理念についてのダイアログ	全階層によるワールドカフェ方式で実施	5年未満 6~9年 10~19年 20年以上	理事長・本部長 運営委員	文京総合 福祉センター	全階層合同で実施する ファシリテータを置く	
新任フォローアップ	期首(なし) 期中(9-11) 期末(3月)	振り返り	実践の振り返り 目標の設定	新任職員	HOST地区 地区長 各施設	HOST地区 各施設	研修シート		
新任大島宿泊研修	3月23-25日	組織理解 支援者の姿勢・態度	ガイダンス 理念 マナー等	新規採用職員 新規採用職員 中途6カ月以上	大島地区 葛飾地区	大島 えみふる	大島地区 該当者の有無確認		
新任研修(中途採用)	7月31日	支援者の姿勢・態度 ふりかえり	ガイダンス 理念 マナー等	施設長他 ファシリテータ候補者	本部	本部	初回6月15日		
ワールドカフェ・ファシリテータ養成	ワールドカフェ・ファシリテータ養成	通年 3回	理念研修ARDのファシリテータ	ワールドカフェのファシリテータ養成	施設長他 ファシリテータ候補者	本部	本部		
BGPマネジメント研修	BCPマネジメント研修	2月26日	大規模災害対策とBCP策定	BCPと安否確認システムの構築	BCP推進担当 者	御殿場・大島地区	えみふる		
サービス管理	接遇マナーA	通年・地区 最低1回	接遇マナー	組織人・支援者としてのエチケット・マナー	中途 新任	地区長・施設長	各地区・施設	基本テキスト	
	接遇マナーB	通年・地区 最低1回	接遇マナー 事例検討	ロールプレイングによる接遇マナー向上運動	全職層・職種 新人・一般職員	地区長・施設長	各地区・施設	基本テキスト	
	リスクマネジメントA	通年・地区 最低1回	武蔵野会のリスクマネジメント	安全とリスクマネジメントシステム	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設	基本テキスト	
	リスクマネジメントB	通年・地区 最低1回	AKTとリスク感性	リスク感性と報告書	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設	基本テキスト	
	リスクマネジメントC	通年・地区 最低1回	事故分析手法	事故分析と改善手法 SHELL	施設長推薦	地区長・施設長	各地区・施設	基本テキスト	
	リスクマネジメントD	6月6日 10月3日	クレーム対応	クレーム対応	施設長推薦	九品仏生活実習所 施設長推薦	各地区・施設	基本テキスト	
就労支援サービス管理	通年・地区 最低1回	自主生産品におけるコンプライアンス	品質管理 商品成分表示 関連法規	一般職員	各地区	各地区・施設	H26就労支援部会作成 テキスト		
財務・会計	財務(通信)	7月	施設経営分析	施設経営分析	施設長	本部	本部	基本テキスト	
	財務(通信)	7月	経営指標による分析	労働分配率等の指標による改善	課長・係長	本部	本部・地区	基本テキスト	
	財務(通信)	7月	財務知識 分析等	財務の基礎知識	主任	本部	本部・地区	基本テキスト	
栄養士・看護師・事務職	栄養士	10月2日	栄養士	障下難者の食事指導・アレルギー食など	栄養士	千代田・文京	えみふる		
	看護師	10月23日	施設看護師	外部講師による看護研修	看護師	練馬地区	えみふる		
	事務員研修会	10月30日	事務員	新会計基準他 事務管理関係	事務員	本部	本部	えみふる	
メンタルヘルス	ストレスマネジメント	12月 日	援助職のストレスマネジメント	「マインドフルネス」	全職層・職種 各施設より委員	本部	本部	外部機関による	
	セクハラ・パワハラ研修	9月25日	セクハラ防止	セクハラ・パワハラ等の防止	本部	本部	えみふる	外部機関による	
業務評価スキル研修	施設経営・サービス分析	通年	業務評価・分析	第三者視点による経営・サービス分析スキル	施設長ほか	福祉第三者評価機構	本部	本部	
調査・研究	スーパービジョン研究	通年	法人マネジメントとSV体制の構築		施設長ほか	本部	本部	日福大SV研究センター	
	社会福祉施設におけるHIV陽性者の受け入れ研究	通年			施設長他	本部		厚労科研	
	触法障害者定着支援ネットワーク構築に関する研究	通年			施設長他	本部		本部	
	クレーム対応事例集作成	通年	事例集作成	クレーム対応の事例集の作成		世田谷地区			
	支援実践報告	随時 年1回	支援実践報告	各現場での取り組みを報告		各地区		各地区・施設	
支援実践集	2月提出	支援実践集	各現場での実践報告を冊子にまとめる。		本部		葛飾		

平成27年度の法人研修について

- ・研修センターの運営並びに研修については、千代田文京地区が調整し、表内各担当が企画、実施する。
- ・今年度は、マネジメント領域では階層別研修の管理職役職で法人経営課題とマネージメントについて階層ごとに設定する。
- ・施設長研修は施設長会議と同日に年6回行う。6月、8月、10月、12月、2月を行う予定。
- ・調査研究としてSV研究、HIV受入れ、触法障害者支援ネット、を新規で入れた。クレーム事例集は継続。実践集の締め切りを、確認・審査スケジュールの関係で2月末とした。
- ・専門研修は、各施設の種別が多岐にわたるため法人としては設定しない。外部研修を利用するなど各施設で必要に応じて行う。
- ・法人研修の目的は、基本理念、福祉の価値・態度やリスクマネジメント、マナー、サービス管理、財務などの福祉経営に関わる内容、その他、組織人、職業人としての基礎知識・技能に関する理解と習熟を目標とする。
- ・本年度はダイアログ研修は、理念ABCD、一般職員研修ABCDと併せて施設長を含めた各階層から縦断的にグルーピングし継続する。ワールドカフェ方式で実施する。各地区養成のファシリテータに研修運営させる。
- ・理念研修ABCDで従来の「語り・マイ支援ブック」は各地区・施設で実施
- ・接遇AB、リスクABCは各地区・施設で実施
- ・虐待防止研修と虐待防止フォローアップ研修は、時期を入れ替え、年度内に完結できるよう計画した。